

H F S P 第 1 1 事業年度長期フェローシップ助成対象者 (仮記)

分子論分野

名前	国籍	現所属	受入先	研究テーマ (指導研究者)
1 NAITO Taku	日	東京工業大学	日 マサチューセッツ総合病院	米 T細胞の活動における核構造のIkaros依存再組織化の機構 (Katia GEORGOPOULOS)
2 HIROSE Tetsuro	日	名古屋大学	日 イェール大学	米 snoRNA宿主遺伝子の表現の際の5'TOPの機能 (Joan A. STEITZ)
3 GABAY Limor	イスラエル	ウァイツマン科学専門学校	イスラエル カリフォルニア工科大学	米 動脈内皮細胞および交感神経ニューロン稜の区別における共同調整 (David J. ANDERSON)
4 BOLDIN Mark	イスラエル	ウァイツマン科学専門学校	イスラエル カリフォルニア工科大学	米 TNF受容体ファミリーのメンバーによるc-Jun転写因子活動の分子的特徴 (David BALTIMORE)
5 HOHWY Morten	デンマーク	オルフス大学	デンマーク スイス連邦工科大学-ヘンケルベルク	ス イ ス 溶液中の大型タンパク質の構造を研究するための溶液状NMR方法論の開発と応用 (Kurt WUTHRICH)
6 NAKAYAMA Jun-Ichi	日	東京工業大学	日 コールドスプリングハーバー研究所	米 裂開酵母の不活動部位における染色質集合体の分析 (Shiv GREWAL)
7 EDEN Sharon	イスラエル	ヘブライ大学	イスラエルハーバードメディカルスクール	米 アクチン集合体へのRac信号経路の解明 (Marc W. KIRSCHNER)
8 COLEMAN Robert	米	ペンシルバニア州立大学	米 スイス連邦工科大学-ヘンケルベルク	ス イ ス 二元TAFII150 / 開始部DNA複合体の生化学的特徴及び結晶化 (Timothy J. RICHMOND)
9 LEE Hyunsook	韓	ケンブリッジ大学	英 ハーバードメディカルスクール	米 p63による上皮下部細胞特定の制御 (Frank D. MCKEON)
10 NG Huck Hui	シンガポール	シンハラ大学	英 ハーバードメディカルスクール	米 ヒストンのアセチル基除去による抑制の機構 (Kevin STRUHL)
11 CIOSK Rafal	ポーランド	分子病理学研究所	オーストリアレッド・ハッチソン癌リサーチセンター	米 C.エレカソスのgermlineにおける転位阻止の機構の解明 (James. R. PRIESS)
12 PAZ Keren	イスラエル	ウァイツマン科学専門学校	イスラエル スローン・ケタリング記念癌センター	米 SNARE複合体 脂肪二層構造体融合の最小機構 (James E. ROTHMAN)
13 BURDA Patricie	ス イ ス	ス イ ス 連邦工科大学-チューリッヒ	ス イ ス カリフォルニア大学サンディエゴ校	米 AP3依存タンパク輸送に関与する成分の特定および特徴 (Scott EMR)
14 VAN THOR Jasper	蘭	アムステルダム大学	蘭 オックスフォード大学	英 光受容体における分子間信号変換 (Louise N. JOHNSON)
15 WILLCOX Benjamin	英	分子医学研究所	英 カリフォルニア工科大学	米 CMV MHC クラスII相同体の構造および機能の調査 (Pamela J. BJORKMAN)
16 SHIM Jaekyung	韓	朝鮮大学校大学院	韓 カリフォルニア大学サンディエゴ校	米 細胞外の刺激に対する反応におけるmRNA安定性の制御 (Michael KARIN)
17 HETTEMA Ewald	蘭	アムステルダム大学	蘭 医学研究会議分子生物学研究所	英 酵母輸送小液胞 / エンドソーム小胞における胞膜タンパク収集の分子的特徴 (Hugh R. B. PELHAM)
18 SATIJI David	蘭	アムステルダム大学	蘭 カリフォルニア大学サンディエゴ校	米 カドハリン様神経受容体(CNR)発現の調節 (Cornelis MURRE)
19 NIESSING Dierk	独	マックス・プランク生物化学研究所	独 ロックフェラー大学	米 ショウジョウバエ成長中の遺伝子情報翻訳調整の構造的な研究 (Stephen K. BURLEY)
20 CINGOLANI Gino	伊	EMBL支所	仏 スクリプス研究所	米 核の輸送のためのimportin とnucleoporin間の相互作用の構造的な分析 (Larry GERACE, John E. JOHNSON)
21 KORTEMME Tanja	独	EMBL	独 ワシントン大学	米 タンパク質のコピュレーションおよび実験に基づいたデザインを使用した、シフト媒介分子的認識の把握
22 BROGNA Saverio	伊	ケンブリッジ大学	英 ブランダイス大学	米 pre-mRNA認識とin vivoスプライシングの初期段階 (Michael ROSBASH)
23 CARLYLE James	加	トロント大学	加 カリフォルニア大学バークレー校	米 マウスのナチュラルキラー細胞によるターゲッティング細胞認識におけるNKR-P1の活性型と阻害型の役割 (David H. RAULET)
24 MASER Pascal	ス イ ス	バーゼル大学	ス イ ス カリフォルニア大学	米 植物におけるナトリウム輸送の分子生理学 (Jurian I. SCHROEDER)
25 LEONHARDT Nathalie	仏	CEA-CENカダラッシュ研究所	仏 カリフォルニア大学サンディエゴ校	米 ABA信号におけるタンパク質キナーゼの分子的特徴および特徴 (Jurian I. SCHROEDER)
26 STEMMANN Olaf	独	ハイデルベルク大学	独 ハーバードメディカルスクール	米 脊椎動物における姉妹染色分体の分離: セハリンと下部基質の生化学的特徴 (Marc W. KIRSCHNER)
27 BEN-YEHUDA Sigal	イスラエル	テルアビブ大学	イスラエルハーバード大学	米 耐熱性細菌芽胞発達のスイッチを支配する遺伝子の特徴 (Richard LOSICK)
28 HERR Alan	米	イタ大学	米 ショーン・インス・センター	英 ウィルス抑制遺伝子により不活性化するホスト翻訳遺伝子の経路の調査 (David C. BAULCOMBE)
29 FORTIN Jean-Francois	加	ラウラル大学	仏 スタンフォード大学	米 アポトーシスにおけるTosoの機能を研究するための分子的・細胞的アプローチ (Garry P. NOLAN)
30 HONDA Hiroaki	日	東京大学	日 プリンストン大学	米 造血幹細胞で発現する遺伝子の遺伝学的分析 (Ihor R. LEMISCHKA)

H F S P 第 1 1 事業年度長期フェローシップ助成対象者（仮記）

分子論分野

31	EIZINGER Andreas	豪	マックス・プランク発達生物学研究所	独	スタフォード大学	米	線虫C.エレガンスにおけるホメオボックス遺伝子のターゲッ (Stuart K. KIM)
32	RICHARD Odile	仏	CNRS	仏	ジョン・インズ・センター	英	シロイヌナミの過剰光に対する反応における情報伝達 (Philip M. MULLINEAUX)
33	BONIZZI Giuseppina	伊	リージュ大学	ベルギー	カリフォルニア大学サンディエゴ校	米	NF-カッパーB活性におけるIKKカプラーの役割 (Michael KARIN)
34	CORONA Davide	伊	EMBL	独	カリフォルニア大学サンタクルス校	米	キロシヨウシヨウバエのISWI機能を制御する因子の遺伝学的スクリーニング (John W. TAMKUN)
35	KOBOR Michael	独	トロント大学	加	カリフォルニア大学バークレー校	米	DNA複製開始における染色質リモデリングの役割 (Jasper D. RINE)
36	CHEDIN Stephane	仏	生化学・分子遺伝学部門	仏	王立癌研究基金	英	発芽中の酵母複製起源におけるpre-RCsの集合体の可溶性細胞解放機構の研究 (John DIFFLEY)
37	NOY Dror	イスラエル	ウァイツマン科学専門学校	イスラエル	ペンシルバニア大学	米	新たにデザインされたバクテリオクローフィルタンパク質：電子移動とエネルギー変換研究のための新基準 (Peter Leslie DUTTON)
38	PLEMPER Richard	独	シュトゥットガルト大学	独	メイヨー診療所	米	天然および人工バミダシウイルス膜糖タンパク質の折れたたみ、輸送および異種低重合体化 (Roberto CATTANEO)
39	IHARA Kentaro	日	奈良先端科学技術大学院大学	日	テキサス大学	米	Gタンパク質ヘテロマーと合成されたGタンパク結合受容体の構造研究 (Stephen SPRANG)
40	VANZO Nathalie	仏	CNRS	仏	EMBL	独	シヨウシヨウバエ卵形成中におけるオスカ-mRNAの遺伝情報翻訳制御の機構 (Anne EPHRUSSI)
41	BERZINS Stuart	豪	モナッシュメディカルスクール	豪	ハーバードメディカルスクール	米	自己免疫性NODマウスにおける欠陥許容誘導 (Diane MATHIS, Christophe BENOIST)
42	JABADO Nada	仏	ネッケル病院	仏	マックギル大学	加	マクローファーシのNramp 1型機能の生化学的側面 (Philippe GROS)
43	MODIS Yorgo	ギリシャ	EMBL	独	ハーバード大学	米	ヒトヒトマウイルス16型と細胞受容体との相互作用 (Stephen C. HARRISON)
44	ZEITLINGER Julia	独	EMBL	独	ホワイトヘッド研究所	米	出芽酵母における浸透圧中のケルム全体の表現の遺伝学的解剖 (Richard A. YOUNG)
45	KLEIN Ulf	独	ケルン大学	独	コロンビア大学	米	胚細胞中央B細胞におけるBCL-6早期腫瘍形成遺伝子発現を支配する要素の特定 (Riccardo DALLA-FAVERA)
46	GEISSMANN Frederic	仏	ネッケル病院	仏	ニューヨーク大学メディカルセンター	米	HIV感染のマウスモデルにおける宿主ウイルスの相互作用における樹状突起細胞のin vivoの役割 (Dan R. LITTMAN)
47	FRIEDLER Assaf	イスラエル	ヘブライ大学	イスラエル	医学学術会議	英	新奇p-53由来疑似タンパクの発達：p53突然変異を抑制する手段 (Alan R. FERSHT)
48	CLAYTON Andrew	豪	メルボルン大学	豪	マックス・プランク生物物理化学研究所	独	プラス膜内のErbBチロシンキナーゼ受容体の異型結合のパターンを分光器により画像化する (Thomas M. JOVIN)
49	LEE Marcus	豪	ラートロップ大学	豪	カリフォルニア大学バークレー校	米	酵母小胞体からのアミノ酸透過酵素分泌物におけるShr3pの役割 (Randy W. SCHEKMAN)
50	HEMBERGER Myriam	独	マックス・プランク分子遺伝学研究所	独	マウントシナイ病院	加	栄養芽層侵入に関与するとと思われる新規遺伝子の機能的特性 (James C. CROSS)
51	CORSON Laura	米	カリフォルニア大学サンディエゴ校	米	マウントシナイ病院	加	マウス第15染色体の機能的分析 (Janet ROSSANT)
52	MAIN Ewan	英	ケンブリッジ大学	英	イェール大学	米	HEAT複製の折れたたみ、設計および相互作用 (Lynne REGAN)
53	SPORLE Ralf	独	GSF環境健康リサーチセンター	独	ハースツール研究所	仏	中胚葉節の筋肉細胞同一性の下位区分化 (Margaret E. BUCKINGHAM)
54	MARTINHO Rui	葡	サセックス大学	英	ニューヨーク大学メディカルスクール	米	シヨウシヨウバエの胚の胚芽幹細胞の発達におけるNanoとPumilioの役割の特徴 (Ruth LEHMANN)
55	LE CAM Laurent	仏	モンペリエ分子遺伝学研究所	仏	ダナ・ファーマー・癌研究所	米	in vivoのRasおよびMyc発癌経路に対する特殊D型循環運動の必要性 (Piotr SICINSKI)
56	BRODERSEN Ditlev	デンマーク	オルフス大学	デンマーク	医学学術会議	英	リボソームの構造と因子を伴う複合体 (Venkatraman RAMAKRISHNAN)
57	DE GREGORIO Ennio	伊	EMBL	独	分子遺伝学センター	仏	シヨウシヨウバエのバクテリア感染：宿主-病原体の相互作用モデル (Bruno LEMAITRE)
58	FITZGERALD Daniel	米	ハーヴェー大学	米	スイス連邦工科大学・エンゲルベルク	スイス	酵母菌RSCタンパク質複合体の精製および結晶化 (Timothy J. RICHMOND)
59	BLERY Mathieu	仏	免疫学センター	仏	オーストリア国立大学	豪	免疫耐性におけるITIM関連受容体の役割についての研究 (Christopher C. GOODNOW)
60	CALLERY Elizabeth	英	トロント大学	加	ニューヨーク州立大学	米	脊椎動物の器官形成の分子的調節体 (Gerald H. THOMSEN)
61	VINCENT Stephane David	仏	ニース大学	仏	ハーバード大学	米	マウス胚の節および左右パターンニングにおける節の機能 (Elizabeth J. ROBERTSON)

H F S P第11事業年度長期フェローシップ助成対象者(仮訳)

分子論分野

62	ECKMANN Christian	オーストリアウィーン大学	オーストリアウィーン大学	米	C.エレカンスにおける胚細胞生存の制御 (Judith KIMBLE)
63	LOHMANN Jan	独 ルートウィヒ・マクシミリアン大学	独 ソーク生物学研究所	米	植物のバクテリオンへの新しい遺伝学的・分子学的アプローチ (Detlef WEIGEL)
64	INOUE Takayoshi	日 国立精神・神経センター	日 国立医学研究所	英	特殊菱形分筋内のマウスにおけるカドヘリン-6の発現の遺伝制御要素の分析 (Robert KRUMLAUF)
65	VINCENT Stephane Andre	仏 パーセル大学バイオセンター	仏 ハーバードメディカルスクール	米	キロシヨウシヨウバエにおける無翼ハルネミ状タンパク質分布の分析 (Norbert PERRIMON)
66	OHBA Tomoyuki	日 九州大学	日 スクリプス研究所	米	必須タンパク質の核内膜への輸送の機構 (Larry GERACE)
67	FISCHER Nicolas	スイス シュネーブ大学	スイス 医学学会議	英	ハブテシ認識に必要とされる抗体の構造的特性的分析 (Gregory P. WINTER)
68	YARWOOD Stephen	英 クラスコー大学	英 オンタリオ癌研究所	加	Ras系およびRho系GTP酵素と環状AMPによるホモイノシチド3キナーゼとの相互作用の調整 (James R. WOODGETT)
69	ORIAN Amir	イスラエルテクニオンイスラエル技術研究所	イスラエルフレッド・ハッチソン癌研究センター	米	TGF 情報伝達によるMyc抑制の分子機構 (Robert N. EISENMAN)
70	SRINIVAS Shankar	印 コロンビア大学	米 国立医学研究所	英	腹側のバクテリオンに関する遺伝子を分離するための、Xenopus tropicalisにおける遺伝子 トラップスクリーニング (James C. SMITH)
71	KOHLER Claudia	独 フライブルク大学	独 フリードリヒ・ミッシャー研究所	スイス	シロイヌナミナからの多冠遺伝子MEDEAのターゲット特定 (Ulrich GROSSNIKLAUS)
72	ARITA Makoto	日 東京大学	日 プリカム&ウイメンズ病院	米	細胞情報伝達における新型抗炎症性脂肪媒体、プレスクアレンシホスフェート(PSDP)の役割と制御 (Charles Nicholas SERHAN)
73	PANSE Vikram	印 印科学研究所	印 ハイデルバーク大学	独	核小体から細胞質へのリボソーム排出における新構成要素の特定 (Eduard C. HURT)
74	STEIN Jens	独 ハーバードメディカルスクール	米 マドリッド自治大学	西	in vivoでchemokineが調停するインテグリン活性の機構 (Carlos MARTINEZ)
75	KEMPF Herve	仏 仏大学	仏 ハーバードメディカルスクール	米	心臓形成前の中胚葉が心筋となるための能力を与える因子の特定 (Andrew B. LASSAR)
76	PROTOZONOVA Ekaterina	加 トント大学	加 ホストン大学	米	DNAリカンド相互作用の新しい形式: 疑似相補的フナド核酸(PNA)を伴う二重二本鎖の侵入 (Walter KELLER)
77	SCHAUB Myriam	仏 分子・細胞生物学研究所	仏 パーセル大学バイオセンター	スイス	tRNAアデニンデアミナーゼ: 遺伝情報翻訳とアミノアシル化における不安定なイノシンの基質認識と機能 (Joachim LINGNER)
78	TEIXEIRA FERNANDES Maria Teresa	葡 ハスツール研究所	仏 ISREC	スイス	酵母テロメラーゼの生物発生説 (Joachim LINGNER)
79	KEREN Nir	イスラエルヘブライ大学	イスラエルワシントン大学	米	カにおける方向付け遺伝子組み換えを用いた、応力下での光合成の研究への新しいアプローチ (Himadri PAKRASI)
80	GUARNE Alba	西 CSIC	西 NIH/NIDDK	米	DNA不一致修復の構造的機能的研究 (Wei YANG)
81	MORSOMME Pierre	ベルギー ルーヴァン・カトリック大学	ベルギー パーセル大学	スイス	酵母内のGPI固定タンパク質のER-ゴルジ小体への輸送の研究 (Howard RIEZMAN)
82	NOGUCHI Eishi	日 九州大学	日 スクリプス研究所	米	有糸分裂開始時に必要とされるCdc25およびWee1の分子的調整の機構 (Paul Raymond RUSSELL)
83	TEN BERGE Derk	蘭 国立発達生物学研究所	蘭 スタフォード大学	米	収縮した受容体による情報伝達: 特異性はどのようにして達成されるか (Roel NUSSE)
84	SCHOCK Frieder	独 マックス・プランク生理化学研究所	独 ハーバードメディカルスクール	米	無異性情報伝達におけるリカンド受容体の相互作用の機構 (Norbert PERRIMON)
85	GIET Regis	仏 レンヌ大学	仏 ケンブリッジ大学	英	auroraタンパク質キナーゼの局在性と活動の制御 (David M. GLOVER)
86	VARNAI Peter	ハンガリー オックスフォード大学	英 国立学術研究センター	仏	DNAタンパク質複合体における高分子相互作用: ヌクレオチド活性化酵素の機構のモデリック (Richard LAVERY)
87	SCHAEFFER Valerie	仏 ロックフェラー大学	米 EMBL	独	シヨウシヨウバエの翼板区の遺伝子表現型の体系的分析 (Stehen M. COHEN)
88	GONZALEZ Susana	西 国立バイオテクノロジーセンター	西 エジソンバラ大学	英	紡錘体標識構成要素によるAPC活性阻害のin vitro再構成 (Kevin G. HARDWICK)
89	KITZMANN Magali	仏 CNRS	仏 シカゴ大学	米	表皮に特有の遺伝子表現に関するETSファミリーのメンバーの役割の解明 (Elaine FUCHS)
90	MERENDINO Livia	伊 EMBL	独 シュネーブ大学	スイス	コナドリムシの葉緑体psaA pre-mRNAの横断結合における細胞と葉緑体の協同作用 (Jean-David ROCHAIX)
91	MENKE Franciscus	蘭 ライデン大学	蘭 ヌトカーズ大学	米	植物の病原体誘導におけるMAPKカスケードの役割 (Daniel F. KLESSIG)

H F S P第11事業年度長期フェローシップ助成対象者(仮訳)

分子論分野

92	TILLOY Florence	仏	ネット病院	仏	イェール大学メディカルスクール	米	先天性免疫体系の研究:哺乳類のToll様受容体の機能分析 (Ruslan MEDZHITOV)
93	BERAUD-DUFOUR Sophie	仏	CNRS	仏	スクリプス研究所	米	ER排出部の形成におけるSar1 GTP酵素の役割 (William E. BALCH)
94	GOMEZ VINCENTEFRANQUEIRA Maria	西	サラマンカ大学	西	ハマースミス病院	英	X染色体不活性化中のDNA複製開始とXistプロモーター切り替えとの関係 (Neil BROCKDORFF)
95	BLANCHETTE Marco	加	シエルブルック大学	加	カリフォルニア大学バークレー校	米	シヨウシヨウバヒhrp48の結合部位およびターゲット選択の機構 (Donald C. RIO)
96	TOMER Guy	イスラエル	ウァイツマン科学研究所	イスラエル	オレゴン健康科学大学	米	DNA不一致修復におけるヒトMutL アルファの推定ATP結合と加水分解刺激の機能的意義 (R. Michael LISKAY)
97	EGILE Coumaran	仏	バースツール研究所	仏	ハーバードメディカルスクール	米	出芽酵母Arp2/3複合体の遺伝学生化学的分析 (Rong Li)
98	SCORRANO Luca	伊	バドゥア大学	伊	ダナ・ファーマー-癌研究所	米	proapoptotic bcl-2ファミリー分子のミトコンドリアによる効果の特徴 (Stanley J. KORSMEYER)
99	WALKER Lucy	英	バースミンガム大学	英	カリフォルニア大学	米	CD4 T細胞の耐性と自己免疫性におけるCTLA4の役割 (Abul K. ABBAS)
100	COFFINIER Catherine	仏	バースツール研究所	仏	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	米	オルガナイザーの分子的基盤: Nodalの役割 (Edward M. DE ROBERTIS)
101	PSYCHOYOS Delphine	仏	オックスフォード大学	英	スローン・ケタリック記念癌センター	米	オルガナイザー形態形成と中胚葉のバタニングにおけるBMPおよびFGF情報伝達 (Lee A. NISWANDER)
102	POMERANZ KRUMMEL Daniel	米	イェール大学	米	医学研究会議	英	ヒトU1 snRNPの生化学的構造的研究 (Kiyoshi NAGAI)
103	REISER Vladimir	スロバキア	ウィーン大学	オーストリア	ダナ・ファーマー-癌研究所	米	SLN1-YPD1-SSK1浸透感知器の機構と制御 (Haruo SAITO)
104	NABHOLZ Christoph	スイス	フリブルグ大学	スイス	ハーバード大学	米	ヒトTra2結合制御体のpre-mRNAターゲットの特定 (Thomas P. MANIATIS)
105	NAKAMURA Masafumi	日	九州大学大学院	日	ハーバードメディカルスクール	米	細胞周期における縮腫アリンイソメラーゼPin1の役割 (Kung Ping LU)
106	CUBIZOLLES Fabien	仏	レンネ大学	仏	ISREC	スイス	酵母内で抑制された染色質のin vitro再構成 (Susan M. GASSER)
107	AIHARA Hideki	日	理化学研究所	日	ハーバードメディカルスクール	米	DNA特定部位再結合についてのX線結晶学的研究 (Thomas E. ELLENBERGER)
108	BRIVE Lars	スウェーデン	テボリ大学	スウェーデン	ベリナム研究所	米	乳癌における新しい標的: BAG-1とHsp70付随分子との分子的相互作用 (Kathryn R. ELY)
109	GILBOA Lilach	イスラエル	テルアビブ大学	イスラエル	ニューヨーク大学メディカルセンター	米	キイロシヨウシヨウバヒにおける生殖腺の形態形成 (Ruth LEHMANN)
110	HOLMSTROM Tim	フィンランド	トゥルク大学	フィンランド	マックス・プランク生化学研究所	独	縮腫Aurora2酵素の燐酸化を基盤とした制御 (Erich A. NIGG)
111	BLAGDEN Christopher	英	ロンドン大学キングス・カレッジ	英	ニューヨーク大学メディカルセンター	米	電気的活性化に依存するミオケニン遺伝発現の制御 (Steven J. BURDEN)
112	AONO Shinya	日	京都大学	日	カーネル大学	米	C.エレカソスの初期の胚におけるPAR-3タンパク質の機能的分析 (Kenneth J. KEMPHUES)